

VIII 研究活動と研究体制の整備

教員個人の研究・社会活動については「XIII 教員の研究教育・社会貢献活動」に示した。

1 財務・研究費

1-1 学外からの研究費補助

1-1-1 科学研究費補助金の申請・採択状況

研究種目	審査区分	H20		H21		H22		H23		H24		H25	
		申請	採択	申請	採択								
特別推進研究 5億円程度 期間3～5年													
特定研究領域 2千万～6億円程度 期間3～6年	計画												
	公募												
基盤研究(S) 5千万円以上1億円程度 期間5年													
基盤研究(A) 2千万円以上5千万 円以下 期間2～4年	一般	1	1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	1			
	海外学 術調査												
基盤研究(B) 5百万円以上2千万 円以下 期間2～4年	一般	<2> 6	<2> 2	<2> 6	<2> 3	<1> 3	<1> 1	<3> 7	<3> 3	<2> 3	<2> 3		<3> 3
	海外学 術調査							1					
基盤研究(C) 5百万円以下 期間2～4年 企画調査は1年	一般	<12> 31	<12> 17	<10> 45	<10> 15	<12> 41	<12> 20	<14> 38	<14> 24	<19> 40	<19> 24		<17> 25
	一般 時限	1		1									
	企画 調査												
萌芽研究 5百万円以下 期間1～3年		5		4		11	3	<3> 8	<3> 4	<2> 13	<2> 5		<4> 6
若手研究(A) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年		1											
若手研究(B) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年		<3> 8	<3> 5	<3> 6	<3> 5	<3> 10	<3> 5	<3> 8	<3> 4	<3> 7	<4> 5		<2> 3
研究成果公開促進費						1	1	<1> 2	<1> 1	1			
研究活動スタート支援										<1> 3	<1> 1		
特別研究員奨励費 期間3年以内		1	1	<1> 1	<1> 1	2	2	2	2	<1> 1	<1> 1		<1> 2
奨励研究										4	1		1
合計		<15> 54	<15> 25	<17> 63	<17> 25	<17> 69	<17> 33	<17> 65	<17> 38	<29> 72	<29> 42		<27> 40

※申請欄の数には、転出者を含め転入者を含めない。採択欄の数には、転入者を含め転出者を含めない。

※〈 〉付き数字は前年度から継続を内数で示す。

※数字は、申請時・採択時点での件数である。

※()は研究区分(1)の数字を内数で示す

1-1-2 受託研究費の受入

(1) 受託研究費受入額等について

研究担当者等	直接経費	間接経費	合計額	研究題目
石原研治	100,000	30,000	130,000	次世代型補聴システムのためのリアルタイム聴覚シミュレータの開発
計	100,000	30,000	130,000	

(2) 共同研究経費受入額等について

研究担当者等	金額	研究題目	寄附者
なし			
計			

1-1-3 寄附金受入額等について

寄附者	寄附金額	担当教員等	寄附目的等
「エコーいばらき」 環境保全基金	48,970	沼澤 篤	水戸市大塚池のプランクトン写真撮影によるデータベース化
大辻永	250,000	大辻 永	科学教育に関する研究助成
教育学部後援会	200,000	教育学部	茨城大学教育学部における教育の振興に関する援助
計	498,970		

(附属学校)

寄附者	寄附金額	担当校等	寄附目的等
附属幼稚園教育振興会	1,340,000	附属幼稚園	茨城大学教育学部附属幼稚園における教育の振興に関する援助
附属小学校教育振興会	2,000,000	附属小学校	茨城大学教育学部附属小学校における教育の振興に関する援助
附属中学校教育振興会	8,450,000	附属中学校	茨城大学教育学部附属中学校における教育の振興に関する援助
附属特別支援学校教育振興会	280,000	附属特別支援学校	茨城大学教育学部附属特別支援学校研究助成金
計	12,070,000		

1-2 研究費の配分

教育・研究基盤経費教室等配分表

(千円)

教室等	教育経費	研究経費	配分額計	配分調整額	最終配分額	前年度配分額
国語教育	1,456	1,635	3,091		3,091	2,928
社会科教育	1,100	1,962	3,062		3,062	3,304
数学教育	1,082	1,479	2,561		2,561	2,736
理科教育	796	2,616	3,412		3,412	3,254
音楽教育	678	1,962	2,640		2,640	2,365
美術教育	754	1,635	2,389		2,389	2,618
保健体育	849	1,308	2,157		2,157	2,849
技術教育	924	1,308	2,232		2,232	2,393
家政教育	731	1,962	2,693		2,693	2,083
英語教育	508	1,635	2,143		2,143	2,082
障害児教育	1,884	1,635	3,519		3,519	3,638
教育保健	1,293	1,635	2,928		2,928	2,957
学校教育	1,164	2,616	3,780		3,780	3,648
情報文化教室	1,755	2,943	4,698		4,698	4,842
人間環境教育	1,171	4,578	5,749		5,749	5,223
学校臨床心理学	1,229	1,308	2,537		2,537	2,444
教育実践総合センター		654	654		654	315
客員教授		287	287		287	276
配分残額(共通経費へ)	2	21	23		23	37
合計	17,376	33,179	50,555		50,555	49,992

2 研究交流

2-1 サバティカル

斎藤芳徳 平成 25 年 1 月 7 日 から 平成 25 年 9 月 18 日

2-2 ポスドクの受け入れ

菊池由葵子 平成 23 年 4 月 1 日 から 平成 26 年 3 月 31 日

受入教員 東條 吉邦

採用機関 日本学術振興会

川端 美季 平成 25 年 4 月 1 日 から 平成 28 年 3 月 31 日

受入教員 瀧澤 利行

採用機関 日本学術振興会

2-3 組織交流

2-3-1 学会

(1) 事務局が設置されたもの

名 称	役 割	担当者
茨城国語教育学会	事務局	会長 橋浦 洋志
茨城地理学会	事務局	会長 小野寺 淳
国絵図研究会	事務局	代表 小野寺 淳
日本工業技術教育学会	事務局	工藤 雄司
全国地方教育史学会	事務局	事務局長 佐藤 環
日本特別ニーズ教育学会	事務局長	新井 英靖
茨城県小児保健協会	事務局	会長 竹下 誠一郎 理事 瀧澤 利行 理事 廣原 紀恵 理事 青柳 直子
茨城教育臨床研究会	事務局	会長 守屋 英子

(2) 学会開催 (主催・共催したもので本学部教員がかかわったもの)

名 称	年 月 日	主催・共催	会 場	参加者数
茨城大学養護教諭同門会「第 11 回教職員のための研修会」	平成 25 年 8 月 7 日	教育保健教室 共催	茨城県立健康プラザ	100 名

平成 26 年度茨城県 小児保健協会の講 演会および総会	平成 25 年 8 月 7 日	教育保健教室 共催	茨城県立健康 プラザ	100 名
茨城地理学会大会	平成 25 年 8 月 10 日		茨城大学人文 学部講義棟	50 名
第 33 回 茨城国語 教育学会 研究発 表会	平成 25 年 11 月 12 日	茨城国語教育学 会	ひたちなか市 立津田小学校	80 名
第 6 回関東養護 教諭学生交流会	平成 25 年 12 月 14 日	教育保健教室 共催	茨城大学	150 名
多民族研究学会 (MESA) 第 21 回 全国大会	平成 25 年 12 月 14 日～15 日	多民族研究学会	茨城大学水戸 キャンパス 教育学部 A 棟 2 階プレゼン テーションル ーム	60 名
茨城教育臨床研究 会	平成 26 年 2 月 22 日	茨城大学大学院 学校臨床心理専 修	茨城大学茨苑 会館	60 名

2-3-2 講演・シンポジウム

名 称	月 日	主催・共催	会 場	参加者数
Wolfgang Skrandies 教授 ショートレクチャー 1. Basics of EEG and ERP 2. Feedback-related ERPs	平成 26 年 2 月 27 日	主催：茨城大学教 育学部障害児生理 研究室 (平成 24 年度学 術研究推進経費)	A531	12 名

2-4 教育委員会との組織交流

2-4-1 教育学部委託生一覧(前期)

NO	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	受入期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	西田 直美 ニシダ ナオミ	女	水戸市立三の丸小学校	教諭	言葉を通して子どもの思いを伝える国語科学習指導の在り方 — 五感から生まれる詩の表現 —		国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
2	関根 芳枝 関根 ヨシエ	女	取手市立永山小学校	教諭	「書く」を身につけさせるための国語科指導のあり方 — 書くこと単元授業のあり方と、書くことの日帯化のために —		国語	国語教育	川崎 秀之	茨城県教育委員会
3	上野 淳 ウエノ ユン	男	結城市立城南小学校	教諭	読解表現力」を育成する国語科学習指導の在り方 — 小学校中学年における「テーマ単元 結城細」の学習材開発を通して —		国語	国語教育	鈴木 一史	茨城県教育委員会
4	大和田 昌夫 オオワタ ナobuf	男	水戸市立緑岡中学校	教諭	社会的事象について多面的・多角的に考え判断したことを表現する力を育てる 社会科学習の在り方 — 第2学年歴史的分野「明治政府の改革がもたらしたものに」における「学び合活動」の工夫を通して —		社会	社会科教育	村山 朝子	茨城県教育委員会
5	増子 弘之 マコシ ヒロユキ	男	ひたちなか市立佐野小学校	教諭	社会的事象に対する見方 考え方を養う社会科学習の在り方 — 小学校第6学年「わたしたちの生活と政治」の学習を通して —		社会	社会科教育	池谷 文夫	茨城県教育委員会
6	小松崎 未美 コマザキ ミミ	女	城里町立七会小学校	教諭	社会科における思考活動と表現活動の一体化を目指し学習指導の在り方 — 小学校第3学年「はたらき人どわした」単元における地域事例を取り上げた協働的な学び合い学習を通して —		社会	社会科教育	木村 勝彦	茨城県教育委員会
7	倉持 博人 クラジ ヒロト	男	下妻市立豊加美小学校	教諭	社会的思考力を育てる社会科学習指導の在り方 — 小学校第3学年「特色ある地いきと人々のくらし」の単元における、地域教材の活用と言語活動の工夫を通して —	平成25年4月1日(月) ～ 平成25年6月30日(日)	社会	社会科教育	小野寺 淳	茨城県教育委員会
8	三輪 輝子 ミワ ヒロコ	女	小美玉市立笠倉小学校	教諭	主体的に問題解決に取り組む児童を育てる理科学習指導のあり方 — 電磁石の性質」の指導における言語活動の充実を通して —		理科	理科教育	矢島 裕介	茨城県教育委員会
9	山口 正秀 ヤマグチ マサヒコ	男	桜川市立羽黒小学校	教諭	観察・実験における言語活動を充実させ表現力を育てる理科学習の指導～レポート作成と説明活動の工夫を通して～		理科	理科教育	山本 勝博	茨城県教育委員会
10	藤田 勝 フジタ マサトシ	男	結城市立結城東中学校	教諭	ボールを打たないときの動きに焦点をあてた授業モデル ～ 中学校第1学年及び第2学年ゴール型バスケットボール ～		保健体育	保健体育	加藤 敏弘	茨城県教育委員会
11	鬼澤 弘治 オニザワ ヒロヲリ	男	北茨城市立関本中学校	教諭	生徒の学習意欲を育む「プログラム」による計測・制御」の教材開発 — Visual Basicを用いたコンピュータ制御 —		技術・家庭	技術教育	工藤 雄司	茨城県教育委員会
12	福田 雅美 フクダ マチミ	女	大洗町立第一中学校	教諭	主体的に考え、判断し、意思決定できる消費者を育てる家庭科学習指導の在り方 ～ 意思決定プロセスを重視した参加型アクティビティの工夫を通して～		技術・家庭	家政教育	野中 美津枝	茨城県教育委員会
13	中村 武 ナカムラ タケ	男	茨城県立梅香中学校	教諭	中学校英語入門期における効果的な英語指導の在り方 ～ 音声と文字を関連づけた指導の工夫を通して～		英語	英語教育	猪井 新一	茨城県教育委員会
14	高木 真由美 タカキ マチミ	女	筑西市立大村小学校	教諭	規範意識を高め、一人一人のよさが生きている学級経営の在り方 — 人間関係づくりを基盤として —		学級経営	学校教育	生越 達	茨城県教育委員会
15	菊地 彩子 キキチ サヨコ	女	ひたちなか市立前渡小学校	教諭	「人」の成長しつづける「生きる力」を育てる特別支援教育の在り方 ～ 生活単元学習と特別の科目による学習や個のニーズに応じた支援（ユニバーサルデザイン）を通して～		特別支援教育	障害児教育	新井 英靖	茨城県教育委員会
16	海東 美貴子 ウミエ 美キコ	女	鉾田市立鉾田小学校	教諭	一人一人の生きる力をはぐくむ生活単元学習の在り方	平成25年4月1日(月) ～ 平成25年6月30日(月)	特別支援教育	障害児教育	新井 英靖	茨城県教育委員会
17	佐藤 まゆみ サトウ マユミ	女	茨城県立駒田特別支援学校	教諭	客観的な業績把握及び目標設定に基づく自立活動の指導の在り方について		特別支援教育	障害児教育	新井 英靖	茨城県教育委員会

2-4-2 教育学部委託生一覧(後期)

No	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	受入期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	榎松 陽子 エノモト ヨウコ	女	水戸市立内原中学校	教諭	伝え合う力を高め、主体的に学ぶ生徒の育成 —単元構成を工夫した言語力を高める授業を通して—		国語	国語教育	鈴木 一史	茨城県教育委員会
2	鈴木 敦子 スズキ アツコ	女	筑西市立下館小学校	教諭	読み解く力と表す力がつながり、醸成する国語科学習指導方法の工夫 —文学的な文章読解における言語活動の充実と字ひい合いにおける実践を通して—		国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
3	藤田 郁介 フジタ コウスケ	男	水戸市立第三中学校	教諭	思考力・判断力・表現力を育成する社会科学習の在り方 —考えを構成・再構成する言語活動を取り入れた単元計画の工夫を通して—		社会	社会科教育	村山 朝子	茨城県教育委員会
4	桑瀬 一郎 クワシロ イチロウ	男	石岡市立八郷中学校	教諭	時代の特色をとらえる力を育てる社会科学習の指導の在り方 —中学校第2学年歴史的分野 開国と近代日本の歩み—における、知識の構造化と比較、関連付け、総合の活動を取り入れた単元構成の工夫を通して—		社会	社会科教育	池谷 文夫	茨城県教育委員会
5	生田目 克紀 ナマエタメ カツキ	男	龍ヶ崎市立中根台中学校	教諭	表現力を高める社会科学習指導のあり方 —小集団での意見交換を中心とした言語活動の取組を通して—		社会	社会科教育	木村 勝彦	茨城県教育委員会
6	飯田 靖宏 イイダ ヤスヒロ	男	常総市立豊田小学校	教諭	思考力・判断力・表現力の向上を目指した社会科学習の在り方 —読み取り 推察 説明 論述等の言語活動を取り入れた単元の学習計画の構成—		社会	社会科教育	木村 勝彦	茨城県教育委員会
7	岡村 克明 オカムラ カツミ	男	日立市立十王中学校	教諭	数学的に推論する必要性やよびに気づける数学科学習指導の在り方 —第2学年の証明の学習における数学的活動の実践を通して—		数学	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
8	牧野 健次郎 マキノ ケンジロウ	男	神栖市立神栖第四中学校	教諭	学習に主体的に取り組む態度を育てる数学科学習指導の在り方 —第1学年「次方程式」における数学的活動を通して—	平成25年10月1日(火) ～ 平成25年12月31日(火)	数学	数学教育	小口 祐一	茨城県教育委員会
9	眉本 礼子 マユモト レイコ	女	石岡市立杉並小学校	教諭	協定を立てて考え、表現する力を高める算数科学習指導の在り方 —単元 角の大きさ—における算数の活動を通して—		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
10	星 篤史 ホシ ナツキ	男	かすみがうら市立志築小学校	教諭	知識及び技能を身に付け、理解を深め、算数科学習指導の在り方 —統計の素地を養う第5学年「平均」の学習を通して—		算数	数学教育	小口 祐一	茨城県教育委員会
11	白波瀬 毅 シロハシ タケシ	男	古河市立上辺見小学校	教諭	児童が主体的に学び、学ぶ楽しさを味わい、算数のよびに気づく授業の一考察 —第6学年 分数のかけ算—における算数の活動を通して—		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
12	正木 啓道 マサキ ヒロミチ	男	日立市立櫛形小学校	教諭	科学的な思考力・表現力を伸ばす理科学習指導の在り方 —考察 表裏活動の工夫改善を通して—		理科	理科教育	松川 寛	茨城県教育委員会
13	生田目 道晴 ナマエタメ ミチハル	男	常陸太田市立世矢小学校	教諭	実感を伴った理解を図り、科学的な見方 考え方を養う理科学習指導の在り方 —月と太陽—における素朴概念をふまえた教材や指導法の工夫を通して—		理科	理科教育	大辻 永	茨城県教育委員会
14	山口 裕美 ヤマグチ ヒロミ	女	行方市立玉造西小学校	教諭	科学的な思考力及び表現力を育てる理科学習指導の在り方 —芽がたをえぬ水—のノー—指導の工夫を通して—		理科	理科教育	小野 義隆	茨城県教育委員会
15	多賀谷 重豊 タガヤ シゲトシ	男	筑西市立養蚕小学校	教諭	科学的な思考力を高め、理解深化を図る理科学習指導の在り方 —習得した知識・技能の活用を図る学習活動の充実を通して—		理科	理科教育	山本 勝博	茨城県教育委員会
16	岩瀬 美佐子 イワセ ミサコ	女	取手市立戸頭小学校	教諭	気づきの目を高める生活科学習指導の在り方 —見付ける・比べる・つたえとるなどの多様な学習活動や学習環境の充実に通して—		生活	学校教育	杉本 憲子	茨城県教育委員会
17	小沼 正美 オノヰ マサミ	男	東海村立舟石川小学校	教諭	運動技能向上を目指した学習活動の在り方 —投動作の基礎的・基本的な知識及び技能の習得を通して—		体育	保健体育	渡邊 将司	茨城県教育委員会

18	浅野 宏 アサノ ヒロシ	男	龍ヶ崎市立松葉小学校	教諭	児童同士が学び合い、運動の楽しさや喜びを味わうことができる体育学習の在り方 ～器械運動 マット運動)における、協同学習を取り入れた学習過程や教材 教具の工夫を通して～	体育	保健体育	吉野 聡	茨城県教育委員会
19	宮山 理 ミヤヤマ リ	男	桜川市立岩瀬西中学校	教諭	ゴール型ゲームにおけるゲームパフォーマンスの向上を目指した学習指導 ～中学校第 1 学年サッカーの授業を対象に～	保健体育	保健体育	鈴木 真 岡本 研二	茨城県教育委員会
20	益子 悦子 タケコ エツコ	女	水戸市立堀原小学校	教諭	楽しく学業にかかわりながら音楽活動の基礎的な能力を身に付けられるようにする学習指導の工夫 ～第 1 学年音楽科の段階的なリズム表現の指導を通して～	音楽	音楽教育	藤田 文子	茨城県教育委員会
21	樋田 美穂 ヒグタ ミホ	女	城里町立七会中学校	教諭	思考力 判断力 表現力を育てる音楽科学習指導の在り方 ～等の指導計画及び授業の展開の工夫を通して～	音楽	音楽教育	田中 健次	茨城県教育委員会
22	益子 真紀 タケコ マキ	女	日立市立台原中学校	教諭	小学校外国語活動で培ったコミュニケーション能力の素地を生かし、自ら発信しようとするコミュニケーションに対する意欲及び基礎的な能力を高める 英語科学習指導の工夫について ～ペアや小グループによる活動を通して、分かったことや伝えたいことを発信する言語活動の工夫を通して～	英語	英語教育	齋藤 英敏	茨城県教育委員会
23	田邊 佳代 タナベ ケイ	女	常陸太田市立機初小学校	教諭	道徳の時間を楽しみに待つ児童が育つ道徳教育の在り方 ～小学校 5 学年における各教科等との関連を総合单元的に基す 別業 1 の改善とその実践を通して～	道徳	学校教育	生越 蓮	茨城県教育委員会
24	市村 一弘 イチムラ ヒロシ	男	鹿嶋市立大同東小学校	教諭	好ましい人間関係を育てる学級経営の在り方 ～小学校 5 学年における各教科等との関連を総合单元的に基す 別業 1 の改善とその実践を通して～	学級経営	学校教育	加藤 崇英	茨城県教育委員会
25	大沼 有紀子 オホヌマ ユキコ	女	東海村立白方小学校	教諭	教育相談体制構築に向けた援助チームの役割の明確化と外部機関との連携の在り方	教育相談	学校教育	三輪壽二	茨城県教育委員会
26	鈴木 明美 スズキ アキミ	女	常総市立大生小学校	教諭	「教育を推進するための実践 ～児童の願いを活かすために～	教育の明確化	学校教育	小川 哲哉	茨城県教育委員会

3 研究成果

3-1 学内刊行物

名 称	発 行	判型	頁数	発行部数	発行年月日
「さらしめ」第 25 号	茨城国語教育学 会	B4 版	4	300 部	平成 25 年 4 月 1 日
『茨城の国語教育』第十三 号	茨城国語教育学 会	A4 版	69	300 部	平成 25 年 11 月 12 日
茨城地理	茨城地理学会	A4 版		200 部	平成 25 年 8 月
障害児教育研究集録第 45 集	障害児教育教室	A4 版	94 頁	300 部	平成 26 年 2 月
いんぷおかるちゃあ Vol.16	情報文化教室	A5	65		平成 26 年 2 月 14 日